

予防歯学教室

研究内容の概要と基礎ゼミ内容

(1) 基礎的研究

歯科疾患の予防と口腔の健康増進を通じて全身の健康に貢献するためには、疾患の病原因子の検索を進め、発症・進行のメカニズムを明らかにしていく必要があります。

予防歯学分野では、以下の課題について研究を進めています。

- ① 宿主細胞の免疫応答に関する研究
- ② 口腔細菌の定着因子に関する研究
- ③ 唾液成分の生物活性に関する研究
- ④ 動脈硬化と口腔免疫応答の研究
- ⑤ 根面齲蝕リスクファクターの研究

研究基礎ゼミで参加する学生諸君には、各研究の実験の補助や実技実習と座学を通じて、歯科疾患の病因解明を進めていく研究過程のおもしろさ・楽しさを発見してくれることを期待しています。

(2) フィールドワーク

一般の臨床医学・臨床歯学では、病気になった患者さんを主な対象とするのに対して、予防医学・予防歯学では、病気のない健康な人々も広く対象としています。このような公衆衛生・地域保健活動を重要な研究対象としているため、フィールドワークは重要な研究手段となっています。

最近では、徳島県歯科医師会や香川県歯科医師会等との共同で、地域歯科保健サービスの供給体制の効率化、住民の健康意識と保健行動の実態調査などのフィールドワークにも取り組んでいます。フィールドワークで得られたデータは、コンピューターに入力してデータベースを構築し、これを色々な角度から分析することにより有意な結果を得て、学会や論文で発表し、社会へ還元しています。

研究基礎ゼミに参加する学生諸君には、ラボでの実験のほかにも、この分野の研究にも可能な中で参加し、体験学習してもらいたいと考えています。

